

2024年

5月

瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum



催物案内

瀬戸焼の総合ミュージアム。
やきもののまち瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)



企画展示室 企画展 「穴山窯跡～赤津に遺された古瀬戸最盛期の窯」

穴山窯跡は、瀬戸市の南東部の赤津区に位置し、発掘の結果、無釉の山茶碗や「古瀬戸」と呼ばれる施釉陶器が大量に出土しました。これらは古瀬戸中期後半から後期初めの特徴があります。古瀬戸の中期は、様々な技法を駆使した装飾的な製品が生産され、古瀬戸の最盛期とされています。穴山窯跡の出土資料をとおして、古瀬戸最盛期の様相をご覧ください。



鉄釉天目
14世紀後半

8月25日(日)まで

中央通りギャラリー 「愛知県陶磁器技能士会展」

陶磁器技能士認定を受けた会員による作品展。
トップレベルの技から生み出される多彩な作品をご覧ください。

7月21日(日)まで

旧尾張瀬戸駅構内 「モ754 ～里帰りして20年～」

1965年から1973年まで瀬戸線の主力として親しまれたモ754は、運行当時と同じ緑色の車体、手動扉などに復元され、2005年の開館から瀬戸蔵ミュージアムに展示されています。運行当時の姿や瀬戸蔵への輸送・設置の様子を写真で紹介いたします。



モ754 山田司さん撮影

2025年3月30日(日)まで



開館時間：9：00～17：00（入館は16：30まで）
入館料：一般：520円、65歳以上・高校生・大学生：310円、
中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方：無料
年間パスポート：一般1570円、65歳以上・高大生940円

5月27日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190

